

科目名	キャリアクリエーション I	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 松井かおり
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	
教員の略歴	元雑誌&広告編集者・ライター、現在は主に企業研修講師として活動。若者支援活動の経験も持つ。					
授業の学習 内容	社会人としてのコミュニケーションやマナーを習得しながら、「キャリアと仕事への意識」を考え、「経営側の視点」を持つことを目的とした授業です。以下の4つを1年間かけて学びます。 ①ビジネスコミュニケーションやビジネスマナーの重要性を理解する ②コミュニケーションやマナー・接遇を、実際の仕事と結びつけて習得する ③自分のキャリア(仕事人生)について考え、キャリアを創造、設計していく ④お店の経営で大切な考え方やたくさんのお客様に来ていただけるお店づくりの基本を学ぶ					
到達目標	①仕事人生(キャリア)のイメージを持ち、目標、ゴールを明確にできる ②自身のキャリアにコミュニケーションやマナーを「実際の仕事」に活かすことができる ③仕事のしくみや仕事の流れ、仕事のあり方を多角的にとらえることができる ④お店の視点で「より来てもらう・買ってもらう」ためのマーケティングの基本的な考え方ができる					
評価方法と基準	試験課題の完成度・プレゼン 80% 課題提出 10% 授業態度・参加意欲 10%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義	【オリエンテーション】授業の目的と意味を理解し、自身の目標設定ができる	前期目標設定
2	4月27日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション①】社会人に必要なマナーやコミュニケーションが理解できる	教科書該当ページ復習
3	5月11日	講義、演習	【ビジネスマナー①】第一印象の重要性を理解し、好感度アップを実践できる	
4	5月18日	講義、演習	【ビジネスマナー②】敬語のしくみと就活・仕事の場面でよく使うフレーズを習得できる	
5	5月25日	講義、演習	【ビジネスマナー③】ビジネス電話のマナーを理解し、研修・就活先に電話をかけることができる	研修依頼電話シナリオ完成
6	6月1日	講義、演習	【就活対策①】就活の身だしなみとメイクのマナーを理解し、に自信を持つことができる ※スーツ着用	面接シート作成
7	6月15日	講義、演習	【就活対策②】面接の基本マナーと、面接官の立場に立ち、採用されるためのポイントがイメージできる	
8	6月22日	動画視聴	【キャリア設計①】学生と社会人との違いを知り、社会人になるとはどういうことか理解できる	キャリアノート作成
9	6月29日	講義、演習	【キャリア設計②】仕事をしていくことの意味を考え、キャリアイメージを作ることができる	
10	7月6日	講義、演習	【キャリア設計③】自身の強みを明確にし、強みを活かして仕事をしていくことが考えられる	
11	7月13日	講義、演習	【キャリア設計③】「どんな仕事かしたいか」だけでなく、「どのように仕事をしたいか」を考えることができる	プレゼン準備
12	7月20日	講義、演習	【キャリア設計④】※企業分析 目指す仕事の具体的な業務などを知ることできる	
13	8月31日	講義、演習	【キャリア設計④】※企業分析 目指す仕事の具体的な業務などを知ることできる	
14	9月7日	試験	【前期試験】企業分析プレゼン	プレゼン振り返り
15	9月14日	講義、演習	【振り返り】研修の振り返りと授業の振り返りを通して自身の課題や目標を明確にできる	後期目標設定
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリアクリエーションⅡ	必修 選択	選択	年次	30	担当教員	松井かおり
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	元雑誌 & 広告編集者・ライター、現在は主に企業研修講師として活動。若者支援活動の経験も持つ。						
授業の学習 内容	社会人としてのコミュニケーションやマナーを習得しながら、「キャリアと仕事への意識」を考え、「経営側の視点」を持つことを目的とした授業です。以下の4つを1年間かけて学びます。 ①ビジネスコミュニケーションやビジネスマナーの重要性を理解する ②コミュニケーションやマナー・接遇を、実際の仕事と結びつけて習得する ③自分のキャリア(仕事人生)について考え、キャリアを創造、設計していく ④お店の経営で大切な考え方やたくさんのお客様に来ていただけるお店づくりの基本を学ぶ						
到達目標	①仕事人生(キャリア)のイメージを持ち、目標、ゴールを明確にできる ②自身のキャリアにコミュニケーションやマナーを「実際の仕事」に活かすことができる ③仕事のしくみや仕事の流れ、仕事のあり方を多角的にとらえることができる ④お店の視点で「より来てもらう・買ってもらう」ためのマーケティングの基本的な考え方ができる						
評価方法と基準	試験課題の完成度・プレゼン 80% 課題提出 10% 授業態度・参加意欲 10%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1	10月5日	講義	【ビジネスコミュニケーション①】仕事の場面で簡単にわかりやすく「伝える」ためのポイントを習得できる			教科書該当ページ復習	
2	10月12日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション②】仕事の場面ですっきり「きく」ためのポイントを習得できる				
3	10月19日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション③】難しい場面での伝え方&購入意欲を高める説明力を磨く				
4	10月26日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション④】指示受けのポイントやコツを習得できる				
5	11月2日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション⑤】実践を通して報連相のポイントやコツを習得できる				
6	11月9日	講義、演習	【ペット業界のお客様対応①】接遇とは何か？を考え、ペット業界に必要な接遇マインドを理解できる			飼い主様対応電話シナリオ完成	
7	11月16日	講義、演習	【ペット業界のお客様対応②】飼い主様対応の様々なシーンで使う接遇用語を習得できる				
8	11月23日	動画視聴	【ペット業界のお客様対応③】クレームのとりえ方と初期対応について理解できる			課題作成	
9	11月30日	講義、演習	【ペット業界のお客様対応④】飼い主様からの電話の受け方の流れや言葉使いが習得できる				
10	12月7日	講義、演習	【マーケティングの基礎①】看板やPOPの役割と集客のポイントを理解する ※PC使用				
11	12月14日	講義、演習	【マーケティングの基礎②】PPTの操作に慣れる 看板制作・POP制作※PC使用			コンテスト振り返り	
12	1月11日	講義、演習	【マーケティングの基礎③】PPTの操作に慣れる 看板制作・POP制作※PC使用				
13	1月18日	講義、演習	【マーケティングの基礎④】PPTの操作に慣れる 看板制作・POP制作※PC使用				
14	1月26日	試験	【後期試験】看板・POPコンテスト発表会			自己達成の評価と課題発見	
準備学習		時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	動物薬理学	必修 選択	必修	年次	2	担当教員 河南圭子
学科・コース	動物看護科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	
教員の略歴	① 獣医師 ② 製薬会社 創薬研究所勤務(実験動物の安全性評価・毒性試験・病理検査担当)					
授業の学習 内容	動物医療の現場で治療または病気を予防するために数多くの薬物が使用されている。そこで動物病院でよく使用される薬物について動物看護師に必要な基礎知識(使用目的、薬理作用、正しい使用方法および副作用)について学ぶ。					
到達目標	動物医療で使用される薬物についての基礎知識を習得することで①飼い主に正しい服薬指導ができる。②獣医師の指示に従い、薬の調剤ができる、動物看護師を目指す。③愛玩動物看護師国家資格の取得					
評価方法と基準	定期試験(第14週目)60点以上で合格とする。					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	薬理学を学ぶ意味、目的を理解し、薬物の適正な管理と保管方法を知る。	配布プリントの作成・練習問題
2	4月25日	講義・演習	薬物の剤形を理解し、その特徴について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
3	5月9日	講義・演習	薬物の相互作用と主薬補薬について理解する。	配布プリントの作成・練習問題
4	5月16日	講義・演習	薬物が影響される要因について考え説明できる。	配布プリントの作成・練習問題
5	5月30日	講義・演習	薬物投与経路の各種方法を理解し、長所と短所を説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
6	6月6日	講義・演習	薬物動態(吸収・分布・代謝・排泄)を理解し、影響を及ぼす要因について考え、説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
7	6月13日	講義・演習	抗菌薬の種類と特徴、薬理作用、副作用について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
8	6月20日	演習	中間試験(筆記試験)・解答解説・振り返り	これまで実施した演習問題の復習
9	6月27日	講義・演習	抗真菌薬の種類と特徴、薬理作用、副作用について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
10	7月4日	講義・演習	自律神経に作用する薬物と種類、特徴について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
11	7月11日	講義・演習	駆虫薬の種類と使用目的、副作用について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
12	7月18日	講義・演習	フィラリア駆虫薬・予防薬の種類と使用方法、注意点について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
13	8月29日	講義・演習	外部寄生虫駆虫薬の種類と使用方法・副作用について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
14	9月5日	前期試験	前期テスト(筆記試験)60点以上合格	中間試験・練習問題の復習
15	9月12日	振り返り	振り返り(筆記試験できなかった問題をできるようにする)	前期試験の振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
愛玩動物看護師の教科書 第3巻 緑書房 基礎動物看護学3 ファームプレス				

科目名	愛玩動物学 I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	長嶺幸介
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	競走馬生産イヤリング牧場、乗馬クラブ、総合ペットショップ、移動動物園、NPO法人生態科学研究機構副理事長						
授業の学習 内容	愛玩動物看護師の国家試験の必須科目であり、看護師として関わることの多い愛玩動物について学ぶ。 イヌやネコ、代表的なエキゾチックアニマルについて品種や生態特徴などを学ぶ。 それぞれの動物の飼養管理方法や基本的な扱いを学ぶ。 使役動物、特に使役犬について学ぶ。						
到達目標	愛玩動物の歴史と品種等について理解する。 使役動物について理解する。 飼養管理について理解する。 動物の基本的な扱いを理解する。						
評価方法と基準	定期試験60点以上で合格 追試は本試験不合格者と本試験の公欠者で一回のみ行う						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義	犬の歴史と主な品種について理解する	jkc(ジャパンケネルクラブ)の登録犬種について調べてみる
2	4月24日	講義	猫の歴史と主な品種について理解する	前回の授業のノートを整理する
3	5月8日	講義	犬と猫の血糖管理と血統書について理解する	前回の授業のノートを整理する
4	5月15日	講義	犬の飼養管理について理解する	前回の授業のノートを整理する
5	5月22日	講義	犬の飼養管理と取り扱いについて理解する	前回の授業のノートを整理する
6	5月29日	講義	猫の飼養管理について理解する	前回の授業のノートを整理する
7	6月5日	講義	猫の飼養管理と取り扱いについて理解する	前回の授業のノートを整理する
8	6月12日	講義	使役動物について理解する	前回の授業のノートを整理する
9	6月19日	講義	エキゾチックアニマルとは何かを知り、鳥類(飼鳥)の歴史と主な品種について理解する	前回の授業のノートを整理する
10	6月26日	講義	鳥類(飼鳥)の生態・特徴・飼養管理について理解する	前回の授業のノートを整理する
11	7月3日	講義	鳥類(飼鳥)の臨床や疾病について理解する	前回の授業のノートを整理する
12	7月10日	講義	モルモットの主な品種・特徴生態について理解する	前回の授業のノートを整理する
13	8月28日	講義	モルモットの飼養管理・臨床・疾病について理解する	前回の授業のノートを整理する
14	9月4日	定期試験	筆記試験	前期の内容を踏まえ試験対策
15	9月11日	講義	テスト振り返り、前期まとめ	試験の問題の振り返りと前期のまとめ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
緑書房「愛玩動物看護師の教科書 第6巻」 その他必要に応じて随時参考資料等を使用				

科目名	外科疾患	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	宮川
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	①獣医師						
授業の学習 内容	この授業は犬猫の代表的な外科疾患を理解し、必要となる検査、麻酔、手術器具、治癒過程など外科の基礎を学ぶことが目的です。同時に外科疾患患者における看護の仕方を学びます。						
到達目標	1)犬猫の代表的な外科疾患を理解し、説明できるようになる 2)外科手術に必要な検査、麻酔、手術器具、治癒過程など理解を深める 3)生殖器の疾病予防となる避妊・去勢手術の流れを理解し、手術時の注意点を学ぶ 4)外科疾患患者の看護の仕方を学ぶ						
評価方法と基準	定期試験100%(14週目に筆記試験を実施) 筆記試験評価:A100~90 B89~80 C79~70 D69~60 F59~0 *本試験で「A」評価がない場合のみ、出席率で加点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	外科手術において動物看護師の役割を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
2		講義	犬の代表的な外科疾患について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
3		講義	猫の代表的な外科疾患について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
4		講義	外科手術前の血液検査について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
5		講義	外科手術前のX線検査など画像検査を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
6		講義	気を付けるべき呼吸状態と対応を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
7		講義	麻酔の役割・管理について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
8		講義	手術に使用する縫合糸や器具について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
9		講義	輸液の役割および管理の仕方を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
10		講義	犬猫の去勢時手術の仕方などについて理解する	授業ノート、配布資料を見直す
11		講義	犬猫の避妊手術の仕方などについて理解する	授業ノート、配布資料を見直す
12		講義	症例から診断ならびに治療を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
13		講義	1~12週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14		講義	筆記試験	試験範囲の復習
15		講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習		授業ノートや配布資料を整理・復習・新しい言葉を調べる		
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具				

科目名	神経疾患	必修 選択	選択	年次	3年	担当教員	宮川明 子
学科・コース	動物看護科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	①獣医師						
授業の学習 内容	この授業は犬猫の代表的な神経疾患を理解し、必要になる検査、薬剤、看護について学ぶことが目的です。同時に誤診しやすい問題行動や整形疾患との違いを知ること、神経疾患の理解をさらに深めます。						
到達目標	1)犬猫の代表的な神経疾患について理解し、看護の注意点を理解する 2)必要となる神経学的検査の仕方と評価、薬剤の使用上の注意点など理解する 3)誤診しやすい病気と比較することで、さらに神経疾患の理解を深める						
評価方法と基準	定期試験100%(14週目に筆記試験を実施) 筆記試験評価:A100~90 B89~80 C79~70 D69~60 F59~0 * 本試験で「A」評価がない場合のみ、出席率で加点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	DAMNIT-VIについて理解する	授業ノート、配布資料を見直す
2		講義	脳神経・末梢神経疾患について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
3		講義・演習	神経学的検査(末梢性)を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
4		講義	神経学的検査(脳神経検査など)を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
5		講義	先天性・感染性の神経疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
6		講義	痴呆など高齢動物の神経症状を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
7		講義	代謝生脳疾患について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
8		講義	神経疾患に使用する薬剤を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
9		講義	神経疾患の看護について理解を深める	授業ノート、配布資料を見直す
10		講義	発作やてんかんについて理解する	授業ノート、配布資料を見直す
11		講義	誤診しやすい整形外科との違いを理解する	授業ノート、配布資料を見直す
12		講義	特発性てんかんと問題行動について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
13		講義	1~12週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14		講義	筆記試験	試験範囲の復習
15		講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習			授業ノートや配布資料を整理・復習・新しい言葉を調べる	
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具				

科目名	生命倫理・動物福祉	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	本村伸子
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	獣医師免許を持ち、ナチュラルケアのアドバイザーとして犬の病気予防に関するセミナーを開催している講師が実施						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉(アニマルウエルフェア)について学ぶ</li> <li>・現在は伴侶動物の福祉はもちろんのこと、産業動物、実験動物、そして展示動物の福祉についてきちんとした知識と理解が求められている</li> <li>・愛玩動物だけでなく生きるもの全ての命の重さを感じられる人間になって欲しい</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛玩動物看護師として必要な職業倫理を理解し、身につけること。</li> <li>・その歴史的な背景、動物観を考えられるようになる。</li> <li>・「人と動物の関係学」とも関連している授業で、前期と後期を通して動物たちが抱えている様々な問題点を自分の言葉で語れるようになる</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記試験						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	授業の進め方/生命倫理の概要/獣医医療における倫理	教科書等を読み返し授業のまとめをする
2		講義	動物観と影響を与える様々な因子について	動物観についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
3		講義	どんな状況下において安楽死が必要かを考え、理解する/ペットロスについても考える	安楽死やペットロスについての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
4		講義	動物福祉の歴史的背景を考える	動物福祉についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
5		講義	5つの自由について理解し、説明できる	動物福祉についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
6		講義	動物愛護と動物の権利について理解し、説明できる	動物愛護についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
7		講義	日本と世界の動物福祉の歴史と現状の問題点を考える	動物愛護についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
8		講義	愛玩動物の福祉と適正飼養について理解して、説明できる	動物愛護についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
9		講義	ペット産業が抱えている問題点を理解する	動物愛護についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
10		講義	飼い主のいない犬と猫たちの真の幸せと健康について自分なりに考える	動物の保護についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
11		講義	産業動物の福祉について考える	動物福祉についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
12		講義	実験動物の福祉について考える/3Rについて理解する	動物福祉についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
13		講義	展示動物の福祉について考える	動物福祉についての書籍を読む 試験勉強
14		試験	テスト	試験勉強
15		講義	振り返り	テストで分からなかった箇所の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
愛玩動物看護師の教科書第1巻基礎動物学				

科目名	リハビリテーション I	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	前島
学科・コース	動物看護科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	90 2		
教員の略歴	ペットホテル&クリニックFilou、お台場ドッグリゾート、ドッグトレーニング & フィットネスALO ANNA代表						
授業の学習 内容	犬の行動学から犬の学習方法を学び、スムーズに犬を動かすことができる技術です。トレーニングの必要性や、接客技術の必要性なども合わせて学習していきます。						
到達目標	フィットネスを行うにあたり、トレーニングの必要性、犬の性格の見極め方、トレーニングの進め方を理解できます。トレーニングの構成を組み立てることができます。飼い主様からの聞き取り、犬の状況、トレーニングの進め方など飼い主様とのコミュニケーションの取り方などを学習していきます。						
評価方法及び基準	犬への対応、観察 50% 授業態度20% 授業内の課題20% 定期試験10% 毎授業の評価の平均+筆記試験 評価:GPA(S100~90 A89~80 B79~70 C69~ 60 D59~ 0)再試験は公欠が認められたもののみとする。追試験1回						

A

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1	4月19日	講義・実習	フィットネスにトレーニングが必要な理由。クリッカートレーニングの仕組みについて理解できる。クリッカーの導入、キャッチングを使ってお座りなど基本動作をクリッカーで強化する。トレーニング日誌を使って飼い主様から愛犬についての相談(健康、しつけなど)の聞き取りを学習する。		授業の復習		
2	4月26日	講義・実習	誘導を使って犬を動かしていく。ハンドラーの体の使い方、手の動かしなどを調整して犬を正しい位置にスムーズに動かす事を学んでいく。		授業の復習		
3	5月10日	講義・実習	犬が理解しているかを観察から理解し、段階を上げるタイミングを学習する。		授業の復習		
4	5月17日	講義・実習	前回の復習と、シェイピングのトレーニングを学習する		授業の復習		
5	5月31日	講義・実習	前回の復習とシェイピングの2段階を体験し理解する。		授業の復習		
6	6月7日	講義・実習	新しいトリックを決め4週で完成するようにプロトコルを作成、それに沿ってトレーニングを開始する。		授業の復習		
7	6月14日	講義・実習	自分が作成したプロトコルに沿ってトレーニングを行う。		授業の復習		
8	6月21日	講義・実習	自分が作成したプロトコルに沿ってトレーニングを行う。		授業の復習		
9	6月28日	講義・実習	トリックがどこまで完成したか発表する。全4週で行ったトレーニングの反省点と成功点を考え、理解する。		授業の復習		
10	7月5日	講義・実習	バランスボールの上で立つを目標にした実習。二人一組になり担当犬の姿勢、癖、性格などを理解し、バランスを考えながら乗らせる。		授業の復習		
11	7月12日	講義・実習	観察、ハンドリング、補助の重要性を理解する。ハンドラーの指示でボールに乗せ、降ろす。		授業の復習		
12	7月19日	講義・実習	バランスボールの上で座る、立つを指示によって動かすを目標にした実習。		授業の復習		
13	8月30日	講義・実習	バランスボールの上でその子にあったトレーニングを自身で考え実践する		授業の復習		
14	9月6日	試験	筆記テスト		試験の予習と対策		
15	9月13日	講義・実習	テストの答え合わせ・復習・質疑応答		振り返りを行う。		
準備学習 時間外学習			事後学習を通じて深く学び、事前学習を行うことで授業内での展開を促す。				
【使用教科書・教材・参考書】							



科目名	リハビリテーションⅡ	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	前島
学科・コース	アニマルフィットネス	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	ペットホテル&クリニックFilou、お台場ドッグリゾート、ドッグトレーニング&フィットネスALO ANNA代表						
授業の学習 内容	犬の行動学から犬の学習方法を学び、スムーズに犬を動かすことができる技術です。トレーニングの必要性や、接客技術の必要性なども合わせて学習していきます。						
到達目標	フィットネスを行うにあたり、トレーニングの必要性、犬の性格の見極め方、トレーニングの進め方を理解できます。トレーニングの構成を組み立てることができます。飼い主様からの聞き取り、犬の状況、トレーニングの進め方など飼い主様とのコミュニケーションの取り方などを学習していきます。						
評価方法と基準 回	犬への対応、観察 50% 授業態度20% 授業内の課題20% 定期試験10% 毎授業の評価の平均+筆記試験評価:GPA(S100~90 A89~80 B79~70 C69~ 60 D59~ 0)再試験は公欠が認められたもののみとする。追試験1回						

A

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・実習	フィットネスにトレーニングが必要な理由。フリックカートトレーニングの仕組みについて理解できる。タビタセの導入。キックパディングの体の使い方、手の動かしなどを調整して犬を正しい位置にフローブに動かす事を学ぶ。	授業の復習
2	10月11日	講義・実習	犬が理解しているかを観察から理解し、段階を上げるタイミングを学習する。	授業の復習
3	10月18日	講義・実習	前回の復習と、シェイピングのトレーニングを学習する	授業の復習
4	10月25日	講義・実習	前回の復習とシェイピングの2段階を体験し理解する。	授業の復習
5	11月1日	講義・実習	新しいワークを次の4間で完成するプランを制作し、それに沿ってトレーニングを開始する	授業の復習
6	11月8日	講義・実習	自分が作成したプロトコルに沿ってトレーニングを行う。	授業の復習
7	11月15日	講義・実習	自分が作成したプロトコルに沿ってトレーニングを行う。	授業の復習
8	11月22日	講義・実習	ワークがここまで完成したを発表する。全4週で行ったトレーニングの反省点と成功点を振り返り、考える。	授業の復習
9	11月29日	講義・実習	二人一組になり担当犬の姿勢、癖、性格などを理解し、ハンドラーの指示でボールに乗せ、降ろす。	授業の復習
10	12月6日	講義・実習	バランスボールの上で座る、立つを指示によって動かすを目標にした実習。	授業の復習
11	12月13日	講義・実習	バランスボールの上でその子にあったトレーニングを自身で考え実践する	授業の復習
12	1月10日	講義・実習	筆記テスト	試験の予習と対策
13	1月17日	講義・実習	テストの答え合わせ・復習・質疑応答	振り返りを行う。
14	1月24日	試験		
15	1月31日	講義・実習		
準備学習 時間外学習		事後学習を通じて深く学び、事前学習を行うことで授業内での展開を促す。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	動物医療コミュニケーション	必修 選択	必修	年次	2	担当教員 (株)JPR 松井かおり
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	
教員の略歴	元雑誌&広告編集者・ライター、現在は主に企業研修講師として活動。若者支援活動の経験も持つ。					
授業の学習 内容	動物看護師としての仕事の場面での基本的なマナーの習得、さらにコミュニケーション力、飼い主様接遇力の基礎を身に付ける。これらを身に付けることにより、インターン(実習)時や就職活動でも、目上の方、社会人の方とのコミュニケーションにも自信をつけ、自発的に他者と関わることができることを目指す。 また、クライアントエデュケーションの意味と目的を理解する。					
到達目標	①動物病院で働く上で必要な考え方やマナーを知り、学校生活、インターンなどでも実践することができる ②信頼を得られる動物看護師になるための「第一印象」「話し方」「言葉遣い」を身につけることができる ③仕事での「電話のマナー」を理解し、インターンや就活で実践できる ④院内でのスタッフ間のコミュニケーションに必要なスキルを身に付けることができる					
評価方法と基準	①実技試験(動画提出・授業内実施など) 計80% ②授業態度(報告書提出) 10% ③ワークブック提出 10%					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1	4月20日	講義	【オリエンテーション】授業概要とゴールの設定 教P75 授業の目的を理解し、この授業での目標設定ができ		前期目標設定シート作成	
2	4月27日	講義	【動物看護師の仕事とビジネスマナーの重要性】 動物看護師の仕事の範囲や流れがイメージできる		教P68-73予習/課題「動物看護師の仕事」	
3	5月11日	講義、演習	【基本マナー】コミュニケーションの第一歩「第一印象」 好感の持てる第一印象を理解できる 教P80-87		教P80-87予習/スライド資料復習	
4	5月18日	講義、演習	【基本マナー】仕事に必要な「言葉遣い」と「会話力」 敬語の意味と目的が理解できる 教88-97		教88-97予習/スライド資料復習	
5	5月25日	講義、演習	【基本マナー】仕事に必要な「言葉遣い」と「会話力」 業務でよく使う敬語をフレーズで習得できる 教88-		教P88-97予習/スライド資料復習	
6	6月1日	講義、演習	【基本マナー②】電話応対 教104-109 電話のかけ方、就活電話のマナーやコツが理解できる		教104-109予習/スライド資料復習	
7	6月15日	講義、演習	【基本マナー②】電話応対 教104-109 電話の受け方、取次の流れと基本マナーをが理解で		教104-109予習/スライド資料復習	
8	6月22日	動画視聴	【飼い主様対応①】受付対応の流れと必要なスキル 対応の流れを理解し、必要なスキルが習得できる		スライド資料予習・復習 & 事後課題	
9	6月29日	講義、演習	【飼い主様対応①】「受付～ご案内」 対応の流れを理解し、必要なスキルが習得できる		スライド資料予習・復習 & 事後課題	
10	7月6日	講義、演習	【飼い主様対応①】「問診」 対応の流れを理解し、必要なスキルが習得できる		スライド資料予習・復習 & 事後課題	
11	7月13日	講義、演習	【飼い主様対応①】「与薬説明」「お会計」 対応の流れを理解し、必要なスキルが習得できる		実技試験準備	
12	7月20日	前期試験	【試験課題実施】受付対応動画撮影&提出		実技試験振り返り	
13	8月31日	講義、演習	【飼い主様対応・応用】「様々なシーンでの対応1」 飼い主様の感情を理解し対応できる グリーフケア他		スライド資料予習・復習 & 事後課題	
14	9月7日	講義、演習	【飼い主様対応・応用】「様々なシーンでの対応2」 る飼い主様の感情を理解し対応できる クレーム対応		スライド資料予習・復習 & 事後課題	
15	9月14日	講義、演習	【前期振り返り】 自身の成長と課題を整理し、後期の目標が設定でき		後期目標設定シート作成	
準備学習 時間外学習						
【使用教科書・教材・参考書】使用教科書:実践!キャリアコミュニケーション 参考図書 :愛玩動物必携テキスト・愛玩動物看護師の教科書5						

科目名	動物医療コミュニケーション	必修 選択	必修	年次	2	担当教員 (株)JPR 松井かおり
学科・コース	動物看護科(3年制) 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	
教員の略歴	元雑誌&広告編集者・ライター、現在は主に企業研修講師として活動。若者支援活動の経験も持つ。					
授業の学習 内容	動物看護師としての仕事の場面での基本的なマナーの習得、さらにコミュニケーション力、飼い主様接遇力の基礎を身に付ける。これらを身に付けることにより、インターン(実習)時や就職活動でも、目上の方、社会人の方とのコミュニケーションにも自信をつけ、自発的に他者と関わることができることを目指す。 また、クライアントエデュケーションの意味と目的を理解する。					
到達目標	①院内でのスタッフ間のコミュニケーションに必要な報告・連絡・相談のスキルを身につけることができる ②クライアントエデュケーションの目的と意味を理解できる ③飼い主様に応じたエデュケーションのスキルやコツ、伝え方を習得できる ④院内掲示物の作成方法やポイントを理解できる					
評価方法と基準	①実技試験(動画提出・授業内実施など) 計80% ②授業態度(報告書提出) 10% ③ワークブック提出 10%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義、演習	【院内コミュニケーション】 多様なコミュニケーションの距離感や接し方が理解で	スライド資料予習復習&事後課題
2	10月12日	講義、演習	【院内コミュニケーション】指示受け 正確に効率よく指示を受けるスキルが習得できる	教P98-103予習/スライド資料復習
3	10月19日	講義、演習	【院内コミュニケーション】報連相 報連相の目的を理解し、伝え方のスキルが習得でき	教P98-103予習/スライド資料復習
4	10月26日	講義、演習	【院内コミュニケーション】報連相 事例検討・提出 報連相の目的を理解し、伝え方のスキルが習得でき	教P98-103予習/スライド資料復習
5	11月2日	講義、演習	【クライアントエデュケーション】 クライアントエデュケーションの意味や目的が理解でき	スライド資料予習復習&事後課題
6	11月9日	講義、演習	【クライアントエデュケーション】エデュケーションスキル 飼い主様のタイプやニーズに合ったエデュケーションができる	スライド資料予習復習&事後課題
7	11月16日	講義、演習	【クライアントエデュケーション】エデュケーション演習① 飼い主様に的確なエデュケーションができる	スライド資料予習復習&事後課題
8	11月23日	講義、演習	【クライアントエデュケーション】エデュケーション演習② 実技試験の事例課題制作	実技試験準備
9	11月30日	後期試験①	【後期試験1試験課題実施】 クライアントエデュケーション動画撮影&提	実技試験振り返り
10	12月7日	講義	【クライアントエデュケーション】 院内掲示物による予防啓蒙	スライド資料予習復習&事後課題
11	12月14日	演習	【クライアントエデュケーション】 院内掲示物作成のポイント	スライド資料予習復習&事後課題
12	1月11日	演習	【クライアントエデュケーション】 院内掲示物作成 ※PC持参	試験準備
13	1月18日	演習	【クライアントエデュケーション】 院内掲示物作成 ※PC持参	試験準備
14	1月26日	後期試験②	【後期試験2】 院内掲示物の発表・提出(データ提出)	試験振り返り
15	2月1日	講義、演習	【まとめ】1年間の習熟度を自己チェック 自身の成長と今後の目標と課題が設定できる	最終スキルチェック・振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】使用教科書:実践!キャリアコミュニケーション 参考図書 :愛玩動物必携テキスト・愛玩動物看護師の教科書5				

科目名	動物繁殖学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	宮川
学科・コース	動物看護科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	①獣医師						
授業の学習 内容	繁殖に関わる形態と機能を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する						
到達目標	1)生殖器の形態と機能について理解する 2)妊娠・分娩・帝王切開について理解し、援助できるようにする 3)新生児の管理ならびに先天性疾患について理解する 4)遺伝のメカニズムを理解する						
評価方法と基準	定期試験100%(14週目に筆記試験を実施) 筆記試験評価:A100~90 B89~80 C79~70 D69~60 F59~0 * 本試験で「A」評価がない場合のみ、出席率で加点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	雌雄の生殖器の基本構造を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
2		講義	遺伝子について概要を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
3		講義	性周期を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
4		講義	膻スメアと交配適期を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
5		講義	生殖器疾患について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
6		講義	生殖器疾患について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
7		講義	去勢・避妊手術について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
8		講義	交尾・妊娠・分娩について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
9		講義	妊娠鑑定について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
10		講義	新生子の管理について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
11		講義	栄養管理について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
12		講義	ワクチン接種計画について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
13		講義	1~12週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14		講義	筆記試験	試験範囲の復習
15		講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習			授業ノートや配布資料を整理・復習・新しい言葉を調べる	
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具				